

整理番号	19-50	事務事業名	(障がいサービス事業)進行性筋萎縮症者療養給付事業		作成部署	保健福祉部福祉課	電話	内線812
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	上村 弘志	課長職名	小西 洋一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H5	根拠法令等	進行性筋萎縮症者療養等給付事業実施要綱					
" 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	進行性筋萎縮症者に必要な治療と訓練を行うために事業開始							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第1章)
	節	障害者福祉	(第4節)
	施策	自立の支援	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	進行性筋萎縮症者	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	進行性筋萎縮症者に必要な治療と訓練を行う。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	進行性筋萎縮症者を指定医療機関に入所措置
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金	4,283	1,621	1,966	1,966
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	3,741	2,086	1,969	1,969
	合計	8,024	3,707	3,935	3,935
人件費(概算)	人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	900	900	900	900
総事業費 +		8,924	4,607	4,835	4,835

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	年間実利用者数	2人	2人	1人	1人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	延入院日数	730日	385日	365日	365日
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1人1日当たりコスト (総事業費 / 延べ入院日数)	12,224円	11,966円	13,246円	13,246円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	治療に長期間を要する進行性筋萎縮症者を措置し療養を行うものである。
---------------------------------	-----------------------------------

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	身体障害者福祉法により市町村が実施機関となっている。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	進行性筋萎縮症者に必要な治療と訓練を行うものである。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	身体障害者福祉法により、手段については市の裁量の余地は少ない。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	国の負担基準を準用している。市民税または所得税に応じて自己負担あり。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	指定医療機関において治療を行っている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト節減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	指定医療機関へ委託が最も効率的である。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	進行性筋萎縮症者に必要な治療と訓練を行うためのものであり、今後も継続する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり